

三重県での豚熱発生に係る
庁内連絡会議
(持ち回り開催)

日時：令和2年12月30日（水）

出席：知事、危機管理局、
生活環境部、農林水産部、

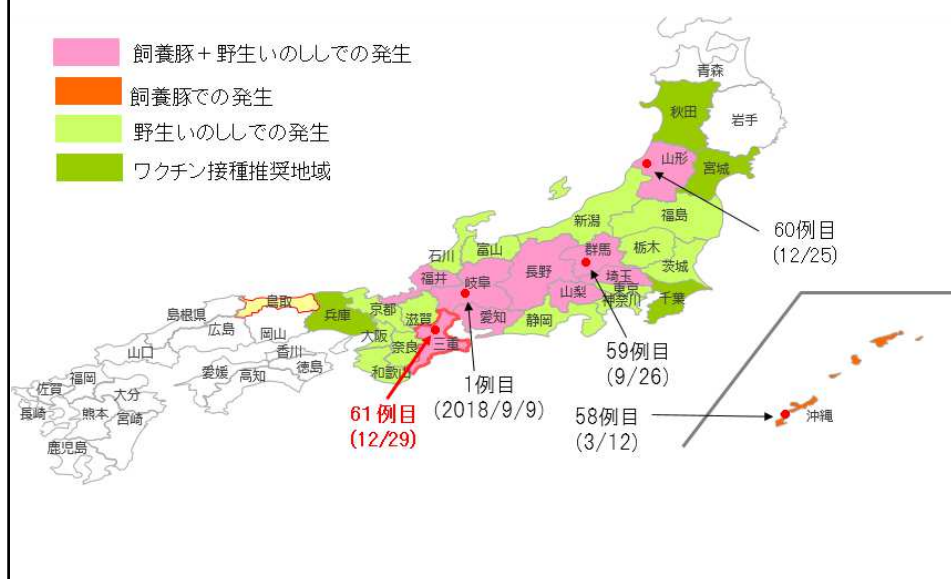
会議内容

- 1 国内発生状況
- 2 発生事例の概要、国の対応状況
- 3 鳥取県の対応状況
- 4 お願い

国内発生状況

- 1 明治21年北海道で国内初発生し、その後国内で断続的に発生していたが、平成4年熊本県の発生を最後に約26年間国内発生なし。
- 2 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和2年9月26日にかけて岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、三重県、福井県及び大阪府内、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県で発生しており、今月に入り山形県で発生。
今回、三重県の発生は国内61例目。
- 3 野生いのししの感染は22都府県に拡大しており、西日本では令和2年10月29日に大阪府茨木市の死亡いのしし、10月30日に和歌山県紀の川市の捕獲いのししで初確認。**12月27日には、山形県小国町で確認された。**

豚熱が確認された都府県



国内発生状況

4 野生いのししでの検出状況(令和2年12月23日現在 農水省調べ) →陽性例は23都府県で確認

県名	陽性確認頭数	検査頭数	県名	陽性確認頭数	検査頭数
福島県	10頭	83頭	長野県	256頭	1,067頭
茨城県	2頭	981頭	岐阜県	1,206頭	4,928頭
栃木県	3頭	559頭	静岡県	276頭	2,777頭
群馬県	76頭	1,881頭	愛知県	139頭	2,367頭
埼玉県	115頭	1,127頭	三重県	261頭	3,279頭
東京都	8頭	121頭	滋賀県	240頭	1,114頭
神奈川県	2頭	696頭	京都府	19頭	233頭
新潟県	22頭	297頭	大阪府	5頭	22頭
富山県	80頭	584頭	奈良県	11頭	268頭
石川県	41頭	609頭	和歌山県	19頭	273頭
福井県	108頭	1,207頭	山形県	1頭	1頭
山梨県	59頭	321頭	合計	2,959頭	24,795頭

三重県の発生事例の概要

1 農場の概要(国内61例目)

場所：三重県伊賀市
飼養状況：6,600頭

2 概要及び検査結果

- ・ 12月28日(月)に農家から飼養豚の異状(20頭死亡)の通報を受け、家畜保健衛生所が立入検査を実施
 - ・ 家畜保健衛生所での検査により豚熱の疑いを生じ農研機構動物衛生研究部門に材料送付し、精密検査を実施
 - ・ 12月29日(火)、豚熱の患畜であることが判明
- 三重県は10月25日から飼養豚へ豚熱のワクチン接種を開始し、11月3日(約89千頭)に終了したところ。
(今回の発生はワクチン接種前の離乳豚との情報)
※40日令未満は母豚からの移行抗体があるため接種対象外

3 対応状況

- ・ 12月29日(火)22時から防疫措置を実施。
- ・ ワクチン接種地域のため、制限区域は設けませんが、主要道路に消毒ポイント設置

国の対応状況

- 12月29日(火)
 - ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の開催
 - ・全都道府県へ情報提供
 - ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
 - ・三重県へ国の疫学調査チーム派遣を決定
 - ・発生農場周辺の消毒を強化し、主要道に消毒ポイントを設置
- 国の野生いのしし対策
 - ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
 - ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
 - ・経口ワクチン23都府県で実施

国の対応状況 続き

- 豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の改正(R2年7月)
- 野生いのしし感染が確認された県とその隣接県について、順次、ワクチン接種推奨地域を指定
 - (R1年10月) 12県(群馬、埼玉、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)
 - (R1年12月) 8都府県(新潟、栃木、茨城、千葉、東京、神奈川、京都、奈良)
 - (R2年1月) 1県(沖縄)
 - (R2年4月) 3府県(兵庫、大阪、和歌山)
 - (R2年8月) 1県(福島)
 - (R2年9月) 2県(山形、宮城)
 - (R2年12月) 1県(秋田)

鳥取県の対応(1)

- 1 発生情報の周知(市町村、養豚農場、農協等関係機関)
(12/29)
- 2 県内養豚農場の状況確認と注意喚起(12/30)
 - ・県内全養豚農場(21農場)に異常の有無等を電話聞取
⇒ 異常なし、三重県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・降雪前後での消石灰散布の徹底を指示
 - ・再度、防鳥ネットの点検と殺鼠剤の散布等を指導
 - ・21全農場で侵入防止柵の設置完了済
- 4 豚熱のワクチン接種推奨地域指定に備えた準備
ワクチン接種研修会開催(12/17)
ワクチン接種に関する農場の同意確認、非接種地域の県外出荷先と場や化製場との交差汚染防止の調整等を実施中

鳥取県の対応(2)

- 5 平成30年9月より野生いのししの検査を実施中
 - ・令和2年12月30日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし297頭について全て豚熱陰性を確認。
- 6 野生いのしし対策の強化
 - ・今猟期に捕獲強化を実施(R2年11月~3月 昨年度は岡山県と同時期のR2年1月~2月に捕獲強化期間を設定)
 - ・3県(兵庫、岡山、鳥取)連携による鳥獣対策に係る担当者会議での経口ワクチン散布に研修
 - ・中国地方知事会豚熱等に係るいのしし検討会構成員による豚熱対策に関する研修会開催(10/22)
- 7 年末年始等の防疫対策徹底
年末年始に向けた豚熱等の防疫対策の徹底を関係機関、生産者に通知済 (12/25)

年末年始の対応(豚熱対応窓口)

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240 (夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341 (")
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140 (")

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286
	090-8061-9109 (休日、夜間)

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979 (夜間休日は守衛に転送)
中部総合事務所生活環境局	0858-23-3149 (")
西部総合事務所生活環境局	0859-31-9320 (夜間休日 0859-34-6211)

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱(CSF)は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡野生いのししを発見した場合は、県農業振興戦略監畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。
- 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。